

「ニエーギニア」ニ於ケル「アノフェレス」竝ニ  
「マラリア」傳播性ニ關スル既往知見

昭和十八年十二月二十二日  
輝、部、隊、複、寫

ニューギニア」ニ於ケル「アノフェレス」並ニ

其ノ「マラリア傳播性」ニ關スル既往知見

ニューギニア民政府衛生局

海軍勸託 森 下

薫

マラリア防遏實施上最モ重要ナル基礎的知見ヲナスモノハ「アノフェ  
レス」ニ關スル諸問題ナルヲ以テ、先ヅ之レガ知見ヲ整備セサル可カラ  
ス。余ハ現地到着以來マノクワリ」ヲ中心トセル地域並ニ巡察ヲ遂ケ得  
タル他地方ノモノニ就テ其ノ調査ヲ行ヒ來タレルモ元ヨリ其ノ範圍ハ尙  
極メテ局部的ナルヲ覺カレス。今後漸次其ノ地域ノ擴張ヲ期スルモノナ  
リ、然レ共從來本地ニ於テ行ハレタル調査既ニ若干アリ、其ノ成績ニシ  
テ參考トナリ得ルモノ少ナカラサルノミナラス、ソレニ基キ發足スルヲ  
寧ロ合理的トナスヲ以テ從來ソ調査報告ヲ涉獵シ其ノ知見ノ整備ニ努メ  
タリ

「ニューギニア」ニ於ケル「アノフェレス」ニ關スル既往ノ研究

ニユイギニア及び其ノ屬島ニ於ケル「アノフレス」ノ研究ハ大部分  
蘭人學者ノ手ニ依ルモノニシテ主トシテ一九二〇年以後ニ成レルモノト  
ス。即チアシロ、ブルフ、スウエツレングレーベル、デルツク、フアン  
スローテン、フエンハイス等ノ研究ニヨリ今日ノ知見ニ到達セリ

右ノ研究ハ舊蘭領ヲ對象トシテナサレタルモノナルモ、舊蘭領ニモ及ボ  
シ得ルモノニシテ、從來英系學者トシテ本方面ニ手ヲ染メタルモノ、テ  
「ラー」等若干アルモ、分布ニ屬スルモノノ他本知見ニ貢獻セル外多カラ  
サルニ類シ

右ノ内「ブルイア」ノ研究最モ著聞ニシテ、一九二六年舊蘭印ニ於ケル「ア  
ノフレス」ノ分布ヲ論シ「ニユイギニア」ニ於ケルモノニ及ビタルガ  
其ノ後ビ「トラベスタツス」(一九二八年)、「アムロンギロストリス」  
(一九二八年)、「アムロンギロストリス」(一九三〇年)、「  
「ア・インゴグ」(一九三一年)等ノ研究又ハ新發種トシテ記載シ  
本邦アノフレス」ノ知見ヲ大ニ進展セシメタリ  
スシロハ「ド・ワル」(一九三二年)ナル新種ヲ加ヘルト共ニフアン

スロイテント共ニ本地ニ甚ダ廣ク分布セル「ビ・バプアエ」ニ「ブル  
ヒ（一九三一年）、「デルーキ（一九三一年）ノ二變種アリトシ、尙ス  
トリツクランド（一九三一年）ノ記載セル「ビ・スシロイ」ヲモ「パフ  
アエ」ノ變種トセリ

フエンハイスハ「メラウケ」ニ陸在セル閩附近蚊族ノ調査ヲ行ヒ、新  
種「メラウケシス」及ビ「ブクテユラツス」ノ新變種「ノバギネンシ  
ス（一九三三年）ヲ記載セリ

本地ニ於ケル「アノフェレス」ヲ綜括的ニ取扱ヘル者ニ前記ブルーフ  
ノ後スウエツレングレール及ロイデンワルド（一九三二年）アリ

即チ其ノ變種「アノフェレス」モ「ダラフ」ハ一九三二年ニ本地ヨリ報告  
セラレタルモノトシテハ一八種ヲ掲ゲ、尙存在不確實ノモノ二種アルヲ  
記セリ、デルツク（一九三八年）ハ「ニューギニア」ニ關スル成書中德  
生ノ項ニ於テ同地産「アノフェレス」トシテ一四種ヲ掲ゲ、ボンネウエツ  
スター（一九三八年）ハ「ニューギニア」ニ於ケル蚊族分布ヲ論ジ「ア  
ノフェレス」類一七種ニ就テ動物地理學的考察ヲ述ケタリ

余ハ巽ニ（一九四〇年）西太平洋岸及諸島ニ於ケル「アノフェレス」ノ分布並ニ其ノ「マラリア傳播性」ヲ論ジ、本地産ノモノトシテ「六種」ニ就テ記述セリ。但共後文献ヲ涉獵セルニ更ニ數種ヲ追加スベキ事ヲ知リ得タリ。

以上從來ノ諸研究ヲ綜合スルニ、今日迄「ニューギニア」全土及屬島ヨリ存在ノ報セラレタル「アノフェレス」ハ二十四種ニ達ス。其ノ内多クノ種類ハ比較的局限セル地域ニ見ラレ、廣ク分布セルモノハ少數ニ過ギス。又前者ニ屬スルモノニシテ、果シテ本地ニ存在スルヤ否ヤニ尙確實性ヲ缺クモノアリ。カカルモノニハ將來調査ノ結果其ノ存在ノ抹消セラルルニ至ルモノアルベク、一方本地ノ如ク人跡未踏ノ地多キ地域ニアリテハ今後調査ノ進展ニ依リ、更ニ種類ノ増加並ニ分布地ノ擴大ヲ充分期待シ得ルモノタルヲ信ズ。

本地ハ生物地理學上濠洲區ニ屬スルガ故ニ既知「アノフェレス」ニ就テモ濠洲ト共通ノモノ少ナカラズ。斯カル「アノフェレス」相ハ一部「ハルマヘラ」、「セラム」ノ諸島ニ延長セラル、モ後者ニ於テハ多少屬

本島の色彩ヲ混スルニ拘ラス「ニューギニア」ニアリテハ新ガル色彩  
メテ少ク、且本地特有ノ種類モ少ナカラサルナリ

「ニューギニア産」アノフエレス「ノ分類

本地ニ於ケル「アノフエレス」ハビロネラ及「アノフエレス」ニ屬  
ニ屬セラル。此ノ内「ビロネラ」及「ニューギニア」及附近島々ニ  
見ラルル特殊ナルモノニシテ原始性ト考ヘラルル多クノ點ヲ存ス。之レ  
ヲ更ニ二亞屬ニ分類ス。「アノフエレス」屬ニシテ本地ニ産スルモノモ亦  
二亞屬ニ配セラル。之レ等ノ分類ニ從ヒ既知「ニューギニア産」アノフエ  
レス「ヲ配列セバ別表ノ如シ

- (1) 属 Bironella Theobald
- (A) 亚属 Bironella Theobald
- 1) Bironella (Bironella) gracilis theobald, 1905
  - 2) Bironella (Bironella) papuae Swellengrebel, 1920
  - 3) Bironella (Bironella) papuae var. derooki Soesilo et . van Slooten, 1931
  - 4) Bironella (Bironella) papuae var. soesiloi Strickland, 1931
  - 5) Bironella (Bironella) papuae var. brugi soesilo et van Slooten, 1931
- (B) 亚属 Brugella Edwards
- 6) Bironella (Brugella) travestitus Brug, 1928
  - 7) Bironella (Brugella) walchi Soesilo, 1932
- (2) 属 Anopheles Meigen
- (A) 亚属 Anopheles Meigen
- 8) Anopheles (Anopheles) insulasorum Swellengrebel et Swellengrebel de Grasz, 1920
  - 9) Anopheles (Anopheles) aitkeni James, 1930
  - 10) ~~Anopheles (Anopheles) stagnaticus Skuse, 1889~~
  - 11) Anopheles (Anopheles) barbirostris van der Wulp, 1869
  - 12) Anopheles (Anopheles) barbumbrosus Strickland et Chowdhury, 1927
  - 13) Anopheles (Anopheles) bancrofti Giles, 1902
- (B) 亚属 Myzomyia Blanchard
- 14) Anopheles (Myzomyia) amictus Edwards, 1921
  - 15) Anopheles (Myzomyia) punctulatus Donitz, 1901
  - 16) Anopheles (Myzomyia) punctulatus var. molluccensis Swellengrebel de Grasz, 1920
  - 17) Anopheles (Myzomyia) punctulatus var. novaguinensis Venhuis, 1933
  - 18) Anopheles (Myzomyia) engirostris Brug, 1928
  - 19) Anopheles (Myzomyia) longirostris var. annulata Brug, 1930
  - 20) Anopheles (Myzomyia) moreukensis Venhuis, 1932
  - 21) Anopheles (Myzomyia) incognitus Brug, 1931
  - 22) Anopheles (Myzomyia) philippinensis Ludlow, 1932
  - 23) Anopheles (Myzomyia) karwari James, 1903
  - 24) Anopheles (Myzomyia) subpictus Grassi, 1899

各種ノ分布並ニ其ノ習性

ニニ丁ギニア産ノモノトシテ報セラルル種類ニシテ、果シテ其ノ存在ノ確實ナリヤ否ヤ決定シ得サルモノアルコトハ既述セル所ナリ。又存在ノ確實ナルモ分布極メテ局限ナルヲ以テ其ノ習性ノ明カナラサルモ亦存ス。以下各魚ノ分布並ニ習性ニ就キ今日迄ニ明カナル範圍ニ於テ記載セントス。

一 ビロネラ

本島ノモノハ一アノソエレス類ニ於テモ極メテ特殊ナル位置ヲ占ムルモノニシテ成蟲ノ形態變異クレス類ニ近キ點アリ。種々ナル意味ニ於テ興味深キモノトス。本島ニシテ一ニユーギニアヨリ報告セラレタルモノハ七種ナリ。

(1) ビロネラ・グランド

本種ハ最近迄アノソエレス・ビロネラト呼バレタルモノニシテ、本地ニ於テハ一マノクワリ一フジツアク一及南方デグール河上流ノ一タナメラ一ヨリ報告アリ。本島ニテハ一スハウアン諸島ニ見ラルル他



「セラム」ハ「ハルマヘラ」及ビ「ブール」ニ分布ス

發生地ハ原始林内ノ水溜又ハ降雨後ノ水溜ニシテ、原則トシテ停溜  
水ニ見ラルルモ少数ハ流水ニモ發生ス。然レ共時ニ大河ノ縁邊ニテ腐  
木又ハ水草ノ間ニ見ラレタルコトモアリ。何レモ原始林内ニシテ從來  
伐開地ニ於テ見出サレタルコトナシ

(2) ビロネラ・パプアエ及ビ其ノ變種

「ビ・パプアエ」ハ比較的廣ク分布シ「デグール」河上流地域北部ニユ  
「ギニア」即チ「ヘイル」フィンク灣及ダムト灣沿岸ロイン島、北西ニユ  
「ギニア」即チ「コカス」「カイマナ」「マノクワリ」ニ見出サル。本  
種ハ濠洲ニモ存在ス

變種「デール」キ及變種「シロイ」ハ「ブミ」「ホランデア」ニ分布ス  
變種「ブルー」ヒハ「デグール」河上流ニテ見出サル

之レ等ハ森林内ノ流水、遮蔽地又ハ日光直射地ノ濕潤地、小水溜ニ  
發生スル他、大河（「デグール」河ノ如キ）ノ岸ニ見出サル、コトアリ  
成蝨ハ人家ニ飛來セスト云フ

(3)

ビロネラ・トラベスチツス

本種ハ最初セラム島ノ「ビルー」及ビ「エラプ」チ灣沿岸地ノサゴ椰子林ニ於ケル濕潤地ニ見出サレシルガ、尙ハルマヘラ「ノ」トベロ及ビ「ニユ」ギニア「ノ」タナメラ「ニ」モ認メラレタリ。即チ本地ニ於ケル分布ハ極メテ局限ナルモノトス。

スシロ「ハ」一九三一年「ハ」マノクワリ地方アンダイ「ニ」ヨリ見出サレタル成蟲幼蟲ニ本種及ビ「ビ」グラシリス「ノ」中間ノ性状ヲ有スルモノヲ記載セルガ其ノ成蟲不騰ナルヲ以テ同定ヲ保留セリ。

(4)

ビロネラ・ワルヒ

本種ハ「マ」ノクワリ地方アンダイ「ニ」ヤーベン島ワダビ及ビ南部「ニ」ユ「ギ」ニア「ノ」メラウケ「ニ」見出サレタリ。  
「ア」ノ「フ」エレス

(5)

「ア」ノ「フ」エレス・「エ」ト「ク」及「ア」ノ「フ」エレス・「イン」ストラエフロールム

右二種ハ「ア」ノ「ス」エレス屬ニ於テモ無斑紋、成蟲ノ「ク」レツクス的姿勢等「ニ」ヨリ「待」察ナル群ニ屬スルモノナリ。「ニ」ユ「ギ」ニア「ニ」於ケ

ル從來ノ調査ニ依レバ前者ハ「マノクワリ」ニ後者ハ「ソロン」ヨリ見ラレタルコトアリト云フモ、其ノ同定ニ多少疑フベキモノアルラ感ゼシム。何レニセヨ極メテ稀レナルモノナルベシ。之等ノ種類ハ遮蔽地ニ發生シ、主トシテ山間流水ノ岸及溜溜、湧水ニ見出サル、モ時ニ山間ノ濕潤地、又ハ河口近キ地ニ見ラル、コトアリ

(6) アノフエレス・ステグマチクス

本種ハ元來濠洲ヨリ報告セラレタルガ、「マノクワリ」在醫師カリアチガ「アンギ湖畔」ニテ採集セル幼蟲ニ本種ト覺シキモノアリ、スシロ（一九三三年）ハソレト濠洲産ノモノトヲ比較シ本種ニ相違ナキコトヲ確實ニセリ

爾來今日ニ至ルモ他地方ヨリ報告ナク「ニユーギニア」ニ於テハ龍記アンギ湖畔附近ニ局限セラレアルガ如シ

(7) アノフエレス・バルビロストリス

本種ハ馬來區ニ普通ノモノニシテ「ニユーギニア」ヲ除ク舊南洋ノ

各地ニ廣ク見ラル。ニユーギニアニ於テハ「クルーラビウオーク  
」「フアクフアク」「スソム」ヨリ報告アルモ元來馬來系ノ移動分布  
ニ依ルモノト覺シク本地トシテハ重シク性少ナキモノナルヘシ。

沼澤、緩ヤカニ流ル、小河川ノ縁邊、養魚池、堀井戸等ノ清水ノミ  
ナラス。時ニ非常ニ混濁セル水溜ニモ發生シ日光ノ有無ニハ影響セラ  
レス。成蟲ハ人家ヨリ動物舎ニ多ク見出サル、モ必ラスシモ人血嗜好  
性ノ弱キモノニアラス。

(8) アノフェレス・バルブプロース

本種モ亦主トシテ馬來地方ニ見ラル、モノニシテ、成蟲ハ前種ニ類似  
シ只僅少ノ差ヲ示スニ過キス、幼蟲ニ於テ始メテソレト明ラカニ區別  
シ得ラル、モノナリ。

ニユーギニアニ於テハ「ソロン」ニ見出サレタルコトアル他報告  
ナキモノノ如シ。

(9) アノフェレス・バンクロッチ

本種ハ主トシテ濠洲及ニユーギニアニ見出サル。ニユーギニア

ニ於ケル分布ハ從來ノ知見ニ依レハ「ピオニーブルピウオーク」及「タ  
ナメラ」ナリ 該地方ニ於テハ少ナカラサル數ニ本種ヲ見出スト云フ  
即チ「タナメラ」ニテ捕獲セラル、成蟲ノ七五%ハ本種ナリ 然ルニ  
幼蟲ノ發生源個所ハ久シク不明ナリシニ、九三二年ニ至リ「モイ」ニ依  
リ始メテ明カニセラレタリ 即チ河川ノ濠及ジヤングル内ノ各種小  
流ニ「タナメラ」モ濠藏地ナリトス

本種ハ人直嗜好性強ク、遠距離ヨリ飛來吸血ス

(10)

アノフエレス・アミツクス

本種ハ濠洲ニ見ラル、モノニシテ「ニューギニア」ニ於ケル存在ハ  
極メテ局限的ナルガ如ク、或キヤンプ地ニテ見ラレタリト云フ他分布  
ヲ明ラカニセス

(11)

アノフエレス・ブクテユラツス

本種ハ「ニューギニア」ニ最モ普通ニシテ流行學上重要性ノ極メテ  
大ナルモノナリ 即チ舊蘭領各地ヘ「アクフアク」アルバトロスピウオーク  
タビヤウオーク、モーターピウオーク、ピオニーヤビウオーク、タナメラ、イドラ、スハウ

諸島、ホランデア、マノクワリ、メラウケ、ヘールフィンク灣沿岸各地ヨリ報告アルモ恐ラク更ニ廣ク分布スヘシヨリ舊濠領各地ニ亘リテ見出サルル他西方ハルマヘラ、セラム及附近ノ諸島ニモ分布ス

本種ハ極メテ雑多ナル地物ニ發生ス。水質モ亦清麗ナルモノヨリ混濁セルモノニ渡ル。即チ壕孔（井戸ヲ含ム）、降雨後ノ水溜、人工的小溝、足跡ノ水溜、サゴ椰子ノ生育セル濕潤地等ノ他、空罅、海岸ニ放置サレタル輪底等ニ溜レル水及水楢中等ニモ發生ス、只次ノ「モルツケンシス」ト異リ清麗ナル流水中ニハ見ラル、コト少ナキモノトセラル（但此ノ點更ニ調査ヲ要ス）注意スヘキハ例外ナク發生地ハ日光直射地ニ見ラルル點ナリトス

本種ノ剝蝕ハ劇シカラス、不知ノ間ニ起ルヲ普通トス。通常夜間九時以後ニ人家ニ襲來シ早朝最モ捕ヘ易シト云ハル

(12) アノフレレス、ブシクテユラツス變種モルツケンシス

本種モ亦前種ト異ニ本地ニ於テ最モ重要ナルモノニシテ分布モ亦極メテ廣ク盛ニユキニアルニ見テ其ノ存在ハ前種ヨリ普通ナルモノトセラル。即チ從來知ラレタル範圍ニ於テモ舊濠領内ニテハ、

「ス」 「カイマナ」 「フアクフアク」 「アルバトロスピウオーク」 「バタビアピウオーク」 「エータバピウオーク」 「ブラウピウオーク」 「タナメラ」 「スハウテン諸島」 「ソロン」 「ホランヂア」 等ニ見ラレタル他「マノクワリ」 及「ヘルフィンク灣沿岸各處」 於テハ前種トノ鑑別ナキ地アルモ、恐ラク本種モ亦見ラル、ナルヘク少ナクモ「マノクワリ」ニ於テ本種ノ存在セルコトハ余モ亦確認セリ

舊濠領ニ於テモ最モ重要ナル傳播者ニシテ廣ク分布セルモノ如シ本種ハ更ニ四方ノ諸島（ハルマヘラ、セラム、アルー島等）ニ分布シ其ノ限界ハ大体ウエーベル線ナルモ、一部之レヲ越ヘタル地アリ本種モ亦日光ヲ好ムモノニシテ、遮蔽地ニハ發生セザルヲ原則トス即チ伐開地ノ種々ナル自然的及人工的水溜（清濁ヲ問ハス）及流水（相當ニ流レ早キモノ）時ニ大河ノ縁邊部ノ草間ニ見ラル 又時ニ半葉水中ニモ發生ス 右ノ如クナルヲ以テ、原始林ノ伐採ニ依リ本種ノ發生ヲ誘發スルコトアルハ「マクラツス」ノ場合ト同様ニシテ所謂マクラツスマリア」ガ屢々人工的ナル

ト同様本種ニ依ル所謂「モルツケ  
ンシスマリア」モ亦人工的マリアニ屬スルヲ普通トスト云ハル  
而モ後者ノ場合、其ノ發生地物ニ對スル撰擇性ノ少ナキ點ハ甚ダシク惡  
性ナルモノト云ツヘキナリ

本種ハ地域ニヨリ頗ル多産スルモノニシテ、テルツクニ依レバ「ヂグ  
ール河上流ニテハ「バンクロンテ」ト共ニ最モ普通ナリ 人血嗜好性強  
シ

(13) アノフェレス・ブンクヂユラツス變種ノウアギネンシス

本種ハフエンハイス（一九三三年）ガ「メラウケ河ノ沿岸カカユイ及  
ビ「ドンギーフ間ノサコ椰子林中ノ小水溜ニ見出シ「モルツケンシス」  
ニ類似スルモ異ナル點アリトシテ新變種トシテ記載セルモノナリ  
爾來發見セラレタル報告ヲ知ラズ 極メテ局限性ノモノナランカ

(14) アノフェレス・ロンギロストリス及變種アヌラタ

本種ハ最初オーベルベータ（一九二七年）ノ「ヂグール河上流人糞附



近叢林中ニ得タル一雌蟲ニ就キブルーフ（一九二八年）カ新種トシテ記  
載セルモノニシテ「ブンクチュラツス及「テツセラツス」ニ近似ノモノ  
ナルモ、其ノ吻著シク長キ點ヲ特異トス

本種ノ分布ハ上流ヂグール河上流（タナメラ）ノ他ニアクフアク及  
ヘールフィンク灣沿岸ニモ見ラル 本地外ニテハ「ハルマヘラ」  
「ブル」  
「テルナテ」ヨリ報告アリ

發生地ハ原始林中ノ廣開ナル濕地ナルモ、大河ノ縁邊部（ヂグール  
河）ニモ發生ス 但伐開地ニハ見ラレス 成蟲ハ人家内ニ飛來スルニ  
其ノ數少ナシ

變種アヌラタ」モ亦原始林中ノ沼澤地及ピンレヨリ出ズル小流ニ發  
生ス 其ノ習性ニ就イテハ知ラル、所ナシ

(15)

アノフェレス・メラウゲンシス

本種ハフェンハイスガ一九三一年禁メテ「メラウケ」ニテ見出シ翌  
年同地ニテ再度見出シタルモノニシテ幼蟲ハ「フィリツビネンシス」  
ニ類ナルモ成蟲ハ「アミツクス」ニ近キヲ以テ新種トシテ報告セリ

發生地ハ濕潤地帯ノ淺キ水溜ニシテ、水底ニ藻類アリ 又時ニ小溜  
水田ニモ見ラレタリ、水ハ清麗ナルヲ普通トス、日光直射地ナリ

幼蟲ハ「フイリツビネンシス」又ハ「アヌラリス」ニ類似スルヲ以

テ從來ソレト同定セラレタルモノアルヘシ

(15)

アノフエレス・インコクニツス

フレムメガ「メラウケ」ニテ發見セルモノ中ニ見出サレタル只一

個ノ幼蟲ニ就キブル「フ」(一九三一年)ニ新種トシテ記載セルニ未ダ成

蟲ヲ明ラカニセザルヲ以テ其ノ位置ノ不明確ナルモノナリトス

(17)

アノフエレス・フイリツビネンシス

本種ハ馬來區ニ普通ナルモノニユ一ギニアニ於ケル存在ニ就テハ

尙多少ノ疑問アルモノニシテスウエンレングレートベル及ロイデソワル

ドガ僅カニ「恐ラク」メラウケ」ニモ見ラルト記スルニ止マル 而

モ從來ソレトセラル、ハ只幼蟲ノミニ依ル所ニシテ而モ本種ノ幼蟲ハ

前記メラウケンシス」ニ極メテ近似ノモノナルヲ以テソレト混同セラ

レタルニアラズヤ 今後ノ調査ヲ必要トス

(18) アノフエレス・スブピックス

本種モ亦馬來區ニ普通ナル種類ナリ。ニューギニア本土ニハ未ダ見ラレサルモ西方小島ミソールヨリ報告アリ。尙ホミソールニハヘラニ其ノ他ウエーベル線以東ノ諸島ニハ相當廣ク分布ス。右ノ如クナルヲ以テ本種ヲニューギニア産アノフエレス中ニ加フルコトハ必ラズシモ隱管ナラサルモ、其ノ屬島ミソールニ迄延長セルヲ以テ斯ク取扱ヘルモノナリ。

(19) アノフエレス・カウリ

本種ノニューギニアニ於ケル存在ニ就テハ確實ナラザルモノアリ。テルツクガ本地産アノフエレス目錄中ニ記シテ居ルモ、其ノ出所明ラカナラズ。スウエルングレーベル及ローゲンワルドハ本地ニ於ケル存在疑ハシトセルモノナリ。本種モ亦馬來區ニハ廣ク分布ス。

以上從來ニニューギニア及屬島ヨリ報告セラレタル種類ニ就キ記述セルガ之ヲ地理分布ヨリ見ルニ次ノ如ク云フコトヲ得。

- ニ ヌ オ ギ ニ ア レ ノ ミ ニ 見 ラ ル、モ ノ
- (1) ビ ロ ネ ラ ・ デ ル イ キ
- (2) ビ ロ ネ ラ ・ ス シ ロ イ
- (3) ビ ロ ネ ラ ・ ス ヒ ー ヒ
- (4) ビ ロ ネ ラ ・ ワ ル ヒ
- (5) ア ノ フ エ レ ス ・ イ ン コ グ ニ ツ ス
- (6) ア ノ フ エ レ ス ・ ロ ン ギ ロ ス ト リ ス 變 種 ア ヌ ラ タ
- (7) ア ノ フ エ レ ス ・ メ ラ ウ ケ ン シ ス
- (8) ア ノ フ エ レ ス ・ フ ン ク ツ ラ ツ ス 變 種 ノ ウ ア ギ ネ ン シ ス
- ニ ヌ イ ギ ニ ア 及 濠 洲 (X 印) 並 ニ モ ル ケ ツ ン 諸 島 ニ 見 ラ ル、ル モ ノ
- X (1) ビ ロ ネ ラ ・ バ プ ア エ
- (2) ビ ロ ネ ラ ・ ト ラ ベ ス テ ツ ス
- (3) ビ ロ ネ ラ ・ グ ラ シ リ ス
- X (4) ア ノ フ エ レ ス ・ ア ミ ツ ク ス
- X (5) ア ノ フ エ レ ス ・ ス テ グ マ テ ク ス

誤

- X (6) アノフエレス・ブンクテユラツス 變種 エルツケンシス
- X (7) アノフエレス・アングテユラツス
- X (8) アノフエレス・バングロフチ
- (9) アノフエレス・ロンギロストリス

(但ニユーギニア及馬來地方ニ見ラルモ  
ニ於ケル存在ノ疑ハシキモノヲ含ム)

- (1) アノフエレス・ユイトケニ
- (2) アノフエレス・インストラエプロールム
- (3) アノフエレス・バルビロストリス
- (4) アノフエレス・バルブリムブノイヌス
- (5) アノフエレス・アイリビネンツス
- (6) アノフエレス・スブリグツス
- (7) アノフエレス・カルワリ

四 ニユーギニア産アノフエレスノ「マラリ」ア傳播性ニ就テ

ニューギニアより報告せられたる「アノ」ニレスルノ種類ハ上述ノ如クナルモ其ノ内其ノ存在ニ就テ眞ニ確認ヲ要スルモノ若干アリ。又存在確實ナルモ其ノ分布ノ極メテ局限セられたルモノアリ。カカルモノノ

「マラリア」流行學的意義ハ極メテ少ナキモノトシテ可ナリ。

ニューギニアニ於テ廣ク分布シ或ハ局限性分布ヲ示スモ發生數多キモノハ「ブンクチユラツス」「ブンクチラツス」幾種キルツケンシス。「パンクロフチ」及ビ「バブアエ」ナルヲ以テ本地ニ於ケル「マラリア」流行ニ關與スルモノハ之等ノ内ニ就メ得ルモノトシテ可ナリ。

而シテ從來ノ調査ニ依レバ最初ノ三種ヲ以テ重要トシ、最後ノモノノ

「マラリア」傳播性ニ就テハ實證ヲキモノノ如シ。

(1) ブンクチユラツス

本種ノ「マラリア」傳播性ハ今日確認セララル所ニシテ、既ニ「マラリア」

ブウォルフ（一九〇四年）及デーニツツ（一九〇二年）ハ舊獨領時代ニ

其ノ地域ニ於ケル重要性ヲ指摘セリ、但氏等ノ場合ハ其ノ極メテ普通ニ存在セル點ヨリ間接的ニ論ジタルニ過ギス。然ルニマフユレーデハ一九

二二年）ハ南セラムニ於テ其ノ自然感染ヲ認メ、續イテデルツク（一  
 九二四年）ハ北ニユーギニアニ於テ多數ヲ剖檢ノ結果平均二・六八％  
 （月ニヨル動搖一・五一五％）ノ自然感染率ヲ得、且胃壁ニ於ケル胞囊  
 体ノ重感染ヲ認メタリ、爾來本種ノ危険性ニ就テハ多クノ間接的證明ア  
 リ、舊蘭印東部地域ニ於ケル重要ナルモノト目セラル  
 但地域ニ依リテハ、本種カ多産スルニ拘ラス「マラリア發生ノ少ナキ  
 コトアリ、ロイデシワル下（一九二六年）ハ「サバルア及アムボシ」ニ  
 テ少ナクトモ一九二五年ニ於テ本種ノ見ラルルモ「マラリア少ナキニ反  
 シ數軒ヲ離レタル地域ニ於テハ本種ノ存在ニヨリ「マラリア」ノ多發ア  
 リタルヲ報告セリ、カカル事實ハ「マクラツス及アコニツス」ノ場合ニ  
 モ知ラルル所ニシテ其ノ理由ハ未タ明カナラス、然レトモカカル事實ニ  
 拘ラス本種ヲ重要ナルモノトスルニ何人モ異論ナキ所ナリ  
 (2) プンクチユラツス 變種モルツケンシス  
 本種ハ感染率最モ高キモノニシテデルツクガ「タナメラ」ニ於テ調査  
 セル結果、次ノ感染ヲ認メタリ

調 査 年 月	檢 査 数	感 染 数	感 染 率
一九二八年一月	八	四	四・九%
一九二九年一月	六・二	六	〇・八%
計	二〇七	一八	八・七%

即チカナル高キ感受性ヲ有スルト共ニ分布廣ク、且伐開地ニ多産スル性狀等ヨリ、本地ニ於テ最モ重要ナル「マラリア」傳播者ト見做スヘキモノナリ

(5) バンクロフデ

本種ガ強キ血嗜好性ヲ有スルコトハワルハ（一九三二年）ノ證明セラル所ナルガデルノクニ依レハ「タナメラ」ニ於ケル本種ノ自然感染率ハ四・三%ナリシニ云フ。而モ個々ニ於テハ頗ル高度ノ感染ヲ示セルモノ少ナカラズ。其ノ存在セル地方ニ於テハ有力ナル傳播者ト目セラル

以上ノ如ク「マラリア」ニ於ケル「マラリア」流行ニ關與



スルハ主トシテ右ノ三種ト思考セラル。依テ先ツ此ノ見ニ立脚シテ防  
過方策ヲ立案ス。ト共ニ一方論ニヲ逸メテ。果シテ之レ以外ノ重要傳播  
者ノ存在ナキヤヲ疑ムル要アリトス。

衛生工作班業務實施要領

一 衛生工作班ハ輝部隊防瘧實施要領ノ示ス所ニ依リ各部隊ニ於テ豫メ所要ノ人員資材ヲ以テ編成シ置クモノトス

歩兵聯隊ニ於テハ大隊毎ニ之ヲ設ケ之カ編成基準別紙第一ノ如シ

二 衛生工作班ノ任務ハ部隊ノ宿營駐留ニ際シ狀況ニ應ジ先ツ該ニ所定

ノ地區ニ所要ノ認傷員ト同行シ防瘧ヲ主體トスル工作ヲ實施スルニ

アリ

三 衛生工作班ノ携行スル器材別紙第二ノ如シ

四 衛生工作班長ハ所要ノ衛生部員ト共ニ先行シ宿營地ノ防瘧上ノ偵察

ヲ行フモノトス之カ爲特ニ著眼スヘキ事項左ノ如シ

1 土地ノ狀況調査

土地高層ニシテ乾燥シ通風良好ナルコト尙緩慢地ニシテ排水ニ

便ニシテ防瘧工作容易ナル土地ヲ選定ス之カ爲他ノ一部ノ衛生的

要約 病ハ小治養資源ハ給水源ノ不便モ之ヲ忍ビ尙且ツ狀況ニ依

リテハ作農上ノ影響ヲモク一時的ニ犧牲ニ供スルノ止ムヲ得サル



1034  
1035

衛生工作班業務報告書



衛生工作班ハ各部隊隊員ノ指示ニ依リ各部隊ニ於テ種々  
重要ノ人員資材ヲ以テ確保シ積メテトス

歩兵第幾隊ニ於テハ大隊長ニ之ヲ指示シ之ヲ指導スル事ヲ期シ

衛生工作班ノ任務ハ部隊ノ衛生維持ニ在リシテ隊員ニ對シテ  
ノ地區ニ於テノ衛生員トシテ指導シ衛生員トスル事ヲ期スルニ

アリ

衛生工作班ノ進行スル結果第幾隊ニ在リテ

衛生工作班長ハ所屬ノ衛生部長ト共ニ先行シ衛生員ノ防疫上ノ積  
ヲ行フモノトスルヲ爲メニ若以スヘキ事項ヲ知シ

1 土地ノ状況調査

土地調査ニシテ防疫シ難良好ナルコトヲ察知シ防疫ニシテ排水

係ニシテ防疫工作容易ナル土地ヲ指定スルヲ爲メ一部ノ衛生員

ヲ派シ例ハハ給養所ニ於テ給水所ノ不潔モ之ヲ注意シ衛生員

リテハ作戦上ノ懸慮ヲモ亦一時的ニ防疫ニ當スルノ止ムヲ得サル

1034  
1035

場合ナルヘシ

2. 住民ノ状況調査

附近住民ノ一般生活状況及「マ」リア浸淫状況ヲ調査シ状況ヲ計  
サハ罹患者ニ對シ病原生殖母体撲滅期ヲ授與スルノ手段ヲ講スル  
モノトス

宿營地ノ設定ニ當リテハ土人部落ト少クトモ一軒隔絶セシムルヲ  
適當トス又土人部落内ニ宿營スル場合ニハ土人ノ集團隔離ヲナス  
ノ手段ヲ採ルモノトス

3. アノアエレス蚊ノ發生状況及其習性調査

速カニ所要ノ資料ヲ以テ宿營地附近ノ「アノアエレス蚊」ノ發生狀  
況ヲ調査シ且ツ之カ習性ヲ檢討シ對蚊作業ノ重點ノ把握ニ努ムル  
ヲ要ス

班長ハ軍醫ノ意見具申ニ依リ速ニ防癘作業ノ具體的實施事項ヲ立案  
シ作業開始スルモノトス

- 六 宿營駐留ニ當リテ實施スヘキ防瘧工作ハ主トシテ對蚊工作ニシテ之  
 カ爲著眼及實施スヘキ作業ハ概要別紙第三ノ如シ
- 七 工作地域ハ概ネ宿營地周邊一帯ニ及フモノトスコノ場合宿營近接地  
 區ヨリ漸次遠隔地ニ延長セシタルヲ可トス狀況許ササル極メテ困難  
 ナル場合ト雖モ五〇〇米ハ徹底的ニ實施スヘキモノトス
- 八 工作ニ當リテハ蚊孳ノ生發ヲ考慮シ重點主義ニ徹スルコト肝要ナリ
- 九 幹部ハ作業間常ニ監視監督ヲ嚴ニシ工作ノ徹底ヲ期スルノ眞摯ナル  
 熱意ト努力トヲ必要トス
- 一〇 宿營駐留間ニ於テハ「マラリア予防委員ト協力シ所要ニ應ジ展々工  
 作補修ヲ行ヒ防瘧ノ徹底ヲ期スルモノトス

別紙第一

衛隊工作班編成

(歩兵大隊ヲ基準トス)

階級	種別	人数	員数	摘要
兵科	中尉	班長	一	
	少尉	班附	一	見習士官又ハ准尉ヲ以テ充ツルコトヲ得
軍醫	中少尉	班附	一	見習士官又ハ准尉ヲ以テ充ツルコトヲ得
	下士官		五	
衛生	下士官		一	
非準	兵		一〇〇	
衛生	兵		五	
軍屬	(通譯)		二	
計			一一六	

見習士官ノ之ニ加フルコトヲ得

衛生工作班携行器材品目員数表

品目	数稱	数量	品目	数稱	数量
熱地携帶用天幕		三	如露	筒	五
鋸	丁	二〇	襪	〃	三
十字鋸	〃	五	洋燈	〃	五
鏡	〃	七	懐中電燈	〃	一〇
斧	〃	一〇	リヤカ (選替)	具	五
墨匙	〃	一五	ムシロ(モツ)	枚	二〇
金網	〃	五	荒縄		若干
大録	〃	一〇	マシク豫防器	具	一
小録	〃	一〇	蚊捕蒐集用具		若干
噴霧器	具	二			
麻	本	二			
バケツ	筒	一〇			

別紙第三

對蚊工作上着眼實施スヘキ事項

1 排水作業 (土地ノ乾燥淨化作業)

池沼、水溜等ノ埋没又排水ヲ圖ル排水ノ爲ニ土地ノ狀況ニ依リ附近ニ吸込井戸ヲ掘リ導水ス

濕地帯ハ排水及井戸ヲ掘開シ或ハ叢林ヲ伐採シ通風採光ヲ良好ナラシメ乾燥淨化ヲ行フ

2 驅蚊伐開作業

(イ) 一般「ア」ノ「エ」レス「レ」蚊ニ對シテハ防蚊ノ驅除少ナキ場合ニ於テ時々叢林ヲ伐採シ蚊ノ棲息ヲ困難ナラシム

(ロ) 空襲ノ危険大ナル場合ニ於テハ伐採ヲ加減シ單ニ採光通風ヲ考慮スルト共ニ蚊ノ發生生育スル箇所ヲ詳細點檢シ處置ス

(ハ) ニ「エ」ノ「ギ」ニ「フ」地區ニ於テハ「ア」ノ「エ」レス「レ」ノ習性上伐採ニ依リ増加スル場合少ナカラサルヲ以テ留意ヲ要ス

コノ場合ハロノ方法ヲ採擇スルヲ可トス

3 蚊ノ發生防止及撲滅作業



- (イ) 小流ハ川底ヲ滲謀シ水流ヲ塞ヘ滞水部ヲ作ラサル如ク所製ノ工事ヲ行フ
- 狀況ニ依リ一サイフォン式ヲ應照スルヲ可トスル場合アリ
- (ロ) 傾斜面ニ對シテハ雨水ノ流下ノ狀況ヲ調査シ之カ滞溜セサル如ク所要ノ地ナラシメテ行フ
- (降雨直後點檢調査スルヲ可トス)
- (ハ) 敷ノ成膏スヘキ物料ノ除去及所要ノ處理
- (雨水ノ滞溜セル一齋ノモノニ著目スルコト肝要ナリ)
- (ニ) 防敵油撒布之カ爲土木工事ニテ小セル沼地、濕地又ハ雨後一時の滞水箇所及小流ノ滞水セル箇所等噴霧器ニ依リ防敵油ヲ撒布ス

1040-2